令和８年11月６日

関係各位

高知県警察本部生活安全部
生活安全企画課

特殊詐欺の被害発生状況について

平素から警察活動へのご理解、ご協力をいただき、感謝を申し上げます。

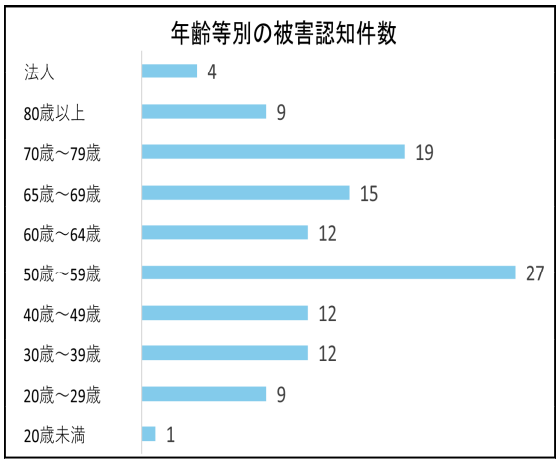
昨年から、県内で多くの被害が発生している特殊詐欺に関しまして、本年10月末において、120件、約９億4821万円の被害が発生しております。

関係各位におかれましては、下記事項をご高覧いただき、職員、関係者、お客様等への被害防止にご協力をお願いいたします。

記

１　令和８年10月末における特殊詐欺の発生件数等

特殊詐欺の手口別被害状況		
特殊詐欺の手口	認知件数	被害額（約）
ニセ警察	35	3億6964万円
SNS型投資	26	2億6900万円
架空料金請求	24	2757万円
SNS型ロマンス	20	2億3441万円
その他	6	4446万円
還付金	4	230万円
交際あっせん	2	77万円
預貯金	1	0
ギャンブル	1	5万円
キャッシュカード詐欺盗	1	0
合計	120	9億4821万円



警察官をかたったニセ警察詐欺の被害は、35件で約3億6964万円!!
ＳＮＳ型投資詐欺の被害は、26件で約2億6900万円!!
この二つの手口だけで、全体の被害の過半数を占めています!!
また、被害者の年齢も各年代にわたっています!!

２　主な手口

(1)　ニセ警察詐欺

犯人は、警察官や検察官等の捜査機関をかたって電話をかけてきて、犯罪に関係しているとか、携帯電話や口座が悪用されているなどと脅かし、調査や捜査が必要などとして金銭を要求したり、口座の預貯金を指定口座に移させるなどして、お金をだまし取ります。

また、ビデオ通話やＳＮＳでのやりとりを要求し、偽物の制服姿や逮捕状を見せて被害者を動揺させてだまします。

本物の警察官や検察官は、ビデオ通話を使ったり、ＳＮＳでやりとりをすることは絶対にありません。また、逮捕状の画像を見せたり、お金を要求したり、口座の預貯金を移すように指示することも絶対にありません。だまされないようにしてください。

(2)　ＳＮＳ型投資詐欺

犯人は、ＳＮＳのダイレクトメール、インターネットのバナー広告、投資動画からのリンクなど様々な方法で接触を図り、投資をすれば必ず儲かるなどといってお金をだまし取ります。

また、ニセの身分証を使ってマッチングアプリに登録し、親しくなった相手に投資の勧誘や紹介をしてだますこともあります。

犯行では、偽物の投資アプリをダウンロードさせたり、投資金の入金先口座が個人、外国人、会社等と度々変更されることがよくあるほか、暗号資産などの投資では正規のアプリやサイトを使用させるものの、被害者に購入させた暗号資産を言葉巧みに送金させてだまし取ることがよくあります。

投資で“絶対にもうかる”などの利益を約束する言葉を使うのは、法律により禁止されていますので、詐欺だと思ってください。また、個人がすすめてくる投資話も危険です。投資は、銀行、証券会社、投資会社等の専門家に相談するなど、信頼できる方法を選びましょう。

３　特殊詐欺の被害防止対策

サイバー攻撃等による個人情報の流出がニュースをにぎわせています。

特殊詐欺の犯人に、住所や氏名、電話番号などが知られる可能性も否定できません。

自宅に泥棒が入らないように鍵かけをするのが当たり前なように、特殊詐欺の犯人から電話がかかってこないようにするために、スマートフォンに特殊詐欺対策アプリをインストールする、自宅の固定電話に海外からの電話がかかってこないように国際電話不取扱サービスを利用するなどの対策を取るようにしましょう。何も対策をしないのは、自宅に鍵をかけないのと変わりません。

警察庁推奨の無料特殊詐欺対策アプリのインストール方法や、固定電話の国際電話不取扱サービスの利用方法が分からない、自治会や各種会合等でやり方を教えて欲しいなどのご相談は、お手数ですが、お近くの警察署（生活安全課又は刑事生活安全課）までお問い合わせください。

高知県内では、令和７年中の住居への侵入盗が143件、特殊詐欺の被害が210件、令和８年９月末の住居への侵入盗が54件、特殊詐欺の被害が109件と、いずれも特殊詐欺の被害件数が上回っており、特殊詐欺への自衛対策が必須です。

担当　高知県警察本部生活安全企画課
地域安全対策係　狩野
088-826-0110（内線3043）